

様式第4号

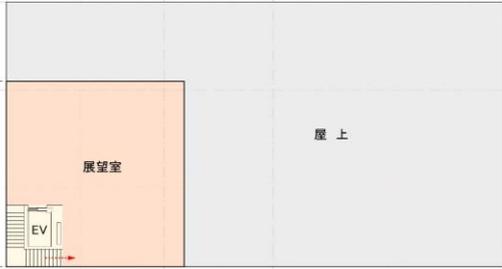
パブリックコメントの取りまとめ結果について

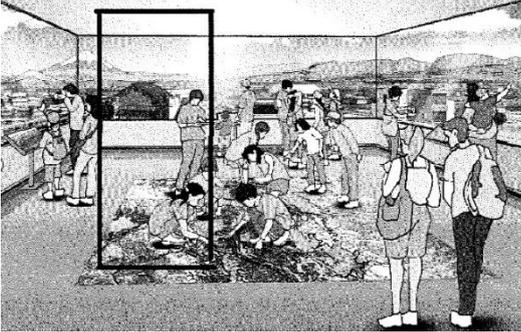
計画等の案の名称	伊豆の国市文化財展示施設基本計画（案）	
公募期間	令和6年2月1日（木）～令和6年2月29日（木）	
提出人数	7人	
意見等の件数	21件	
内訳	意見等により修正した件数	3件
	意見等を考慮した上で修正しなかった件数	17件
	その他（賛否のみを記載したものなど）	1件

意見等の概要

1 意見等により修正したもの

1	該当箇所	16 ページ	項目：第3章2-2. 教育普及事業
	意見等	<p>学習機会の提供 年間計画に基づき、時代や内容等一貫性のある講座を意図的に実施し、当市の文化財について関心の高い市民を育てる。（Civic Prideの醸成）</p> <p>※ セミナー、講演会、ワークショップなどの固定参加者に加えて、活用できる市民を育成する。 → これからの事業の協力者となり得る。</p>	
	修正した理由	<p>ご意見のとおり、目的や狙いなどを明確にした一貫性のある講座などの計画立案、実施に努めてまいります。</p> <p>また、施設の事業展開の協力者となり得る市民の育成という観点も非常に重要なことであると認識しており、施設の開館以前から、運営に参画していただける市民の皆様の輪を広げることを目的とした講座や意見交換会などの開催を検討するとともに、市民交流スペースの規模を80㎡から90㎡に拡大し、運営に参画いただける市民の皆様の交流や休憩スペースを設けることといたしました。</p>	
	修正内容		
		修正後	修正前
		<p>【P. 30 表5-2 諸室機能】</p> <p>室名 市民交流スペース</p> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民による文化活動の成果の展示や発表など</li> <li>市民ボランティアの交流・休憩スペース</li> </ul> <p>想定規模 90㎡</p>	<p>【P. 30 表5-2 諸室機能】</p> <p>室名 市民交流スペース</p> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民による文化活動の成果の展示や発表など</li> </ul> <p>想定規模 80㎡</p>
2	該当箇所	33～34 ページ	項目：第5章4-3. 平面構成
	意見等	<p>3階のはね出しについて 3階のはね出しは、再考したい。（以下の問題となる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南・西にデッドスペースをつくる。</li> <li>唐突な外観となる。</li> </ul>	

修正した理由	ご指摘の2点や、開館後の維持管理なども含めて再度検討した結果、1階から3階まで垂直な構造にすることといたしました。	
修正内容		
修正後		修正前
		
3 該当箇所	46 ページ	項目：第6章3-4. 展望（エピローグ）展示
意見等	<p>展望展示イメージ図案に、大きな誤りがあるので、修正が必要と考えられます。</p> <p>本イメージ図案は、窓の外の色々のやや左側に時代劇場の大ホールや富士山が描かれていることから判断して、展望室の南側から北側方向を見た図であることが判ります。</p> <p>そして大きな床面航空写真が、展望室の床の中央部に設置されていて、数名の人物が航空写真を見ている様子が描かれています。</p> <p>展望室の大きさは、34 ページの3階ブロックプランから、南北 12 m、東西 12mの正方形ですので、イメージ図案の床面航空写真は、一辺約 6 mの四角形の図が描かれています。</p> <p>そしてイメージ図案の右手前に描かれている外人観光客風のカップルは、床面航空写真の南側から床面航空写真を眺めているので、展望室の南側窓から 1～2 m ぐらいの位置に立っていると推定できます。</p> <p>展望室には、3階ブロックプランに記載されているように、中央のやや南西よりの位置にエレベーター室と階段スペースがありますので、南側窓から約 5 mの位置にエレベーターの入り口が設置されると考えられます。</p> <p>本イメージ図案の中央やや左側の床面航空写真の上でしゃがんでいる女の子の位置が、南側窓から約 5 mの位置でありエレベーターの出入り口付近になると推定されます。</p> <p>エレベーターの出入り口の前には、乗り降りする人のための共用スペースとなるため、床面航空写真を設置することはできません。</p> <p>よって、イメージ図案に描かれているような大きな床面航空写真は、設置できないことになります。</p> <p>本イメージ図案は、描く視点が南側の壁の近くからの絵となっているので、3階エレベーターの周囲の壁や階段スペースの落下防止の手すりを描画する必要があります。</p> <p>さらにエレベーターの出入り口や階段降り口の共用スペースも考慮して、床面航空写真を現在のイメージ図の半分以下のサイズに縮小して、実現可能なイメージ図案に修正する必要があります。</p> <p>実現不可能なイメージ図案を、文化財展示施設基本計画に掲載し</p>	

	<p>ておくと、一般市民や関係者の方に誤った完成イメージを与えてしまい、今後の計画の実現に大きな問題になると考えられます。</p> <p>私も最初、本展望イメージ図案を見て、適度に広々とした展望室ができるものと、誤解してしまいました。</p> <p>展望展示イメージ案は、完成予想図として文言だけでは表現できない重要な計画内容ですので、削除するのではなく、実現可能なイメージ案に修正して基本計画に記載願います。</p> <p>参考までに、本展望イメージ図案に、太い黒枠でエレベーターの入り口の概略の位置を示した図を以下に添付します。</p>  <p>尚、本展示イメージ図案をそのままとしたい場合は、展望室のスペースを北方向に4m程度拡張して南北方向の長さを、約16mに変更すれば、本展望イメージ図案が実現可能となります。</p> <p>南北方向に4m拡張されたことにより、エレベーターの入り口の位置が南側に4mほど移動することになり、イメージ図案の手前側に移動することになり、床面航空写真も設置可能となります。</p> <p>その場合、ページ34の3階ブロックプランの変更や3階の面積表などの修正が必要となります。</p>
修正した理由	<p>3階の床面積は現計画どおりを維持することを前提とした上で、ご意見を踏まえ、市民の皆様などに誤解を与えることがないように、イメージ案を修正いたしました。</p>
修正内容	
<p style="text-align: center;">修正後</p>  <p style="text-align: center;">図 6-4 展望（エピソード）展示イメージ案</p>	<p style="text-align: center;">修正前</p>  <p style="text-align: center;">図 6-4 展望（エピソード）展示イメージ案</p>

2 意見等を考慮した上で修正しなかったもの

1	該当箇所	12 ページ 項目：第2章3. 利用者イメージ
	意見等	<p>私の基本的な考えは、限られたスペースが保存や教育を主目的とするならば、既存の学校施設が人口減少により空きスペースができます。これを改造すれば良いのです。</p> <p>広く社会に、この伊豆の国市の文化財を知ってもらい、観光につ</p>

		<p>なげることが第1と思っています。</p> <p>『文化財展示施設』を作って、生徒が見学に来る、これでプロジェクトは終わりではないと思います。今後の展開として、外からの集客が大きなテーマになっていくと考えます。10年かけてでも周辺に飲食施設・体験場所・イベント（時代劇場）など連動して、滞在時間を増やす工夫があるとよいと思います。</p>
	市の考え	<p>観光面での活用につきましては、基本計画（案）の「第2章 2. 基本方針 (5)市内の歴史・観光周遊の拠点となる空間」において、市内の文化財や観光施設などと連携し、市内全域にわたる周遊の促進を図る活動を展開するものとしております。</p> <p>今後、ご意見も参考とさせていただきつつ、中長期的な取組も視野に入れて検討を進めてまいります。</p>
2	該当箇所	14 ページ   項目：常設展示の内容・テーマ
	意見等	<p>説明文では『5つの時代別テーマを設定し、歴史の流れに沿って展示する。』とあります。紙上で良いので、現案の一部3階建てにした時の、展示シミュレーションを展示物の入替えを含めてしっかりやって下さい。時代ごとに展示ブロックを組むことができるか、展示物の時代が前後することはないか、右と左の展示物が同じ時代になるかなどを含めて。</p> <p>以前の説明会では、『あれもこれも、埋もれてきたものも展示したい。』と言ってましたが、どうやって展示していくか疑問です。展示スペースを最大にしても成立しないくらいです。</p> <p>仮に、子供たちが見学した時、山木遺跡のすぐそばに戦国、幕末の文化財が並んでいたら理解できると思いますか？きっと時代錯誤を起こし、理解できなくなって歴史が嫌いになってしまう。しっかりした区画区分をする必要があります。</p>
	市の考え	<p>展示シミュレーションにつきましては、展示設計を実施する前段階での準備作業として、展示する出土品の抽出を行っているところです。</p> <p>なお、展示スペースを最大にしても成立しないのご指摘ですが、説明会における市からの説明では、あくまでも展示物の例示として、現状において展示することができない山木遺跡や多田大塚古墳の出土品を挙げたものです。</p> <p>説明会においてもご説明したとおり、現在本市が保有する出土品は、コンテナケース約3千箱分ありますが、土器や陶磁器などの破片が大多数を占めており、それらを全て展示しようとするものではありません。</p> <p>また、時代毎にしっかりとした区分をする必要があるのご意見ですが、5つの時代別テーマ設定に基づきますので、時代を追っての展示となることから、「山木遺跡のすぐそばに戦国、幕末の文化財が並ぶ」ということは基本的にありません。</p> <p>ただし、例えば、企画展示などにおいて、同種の生活用具の時代による比較・変遷などを示す場合には、様々な時代のものを隣り合わせで並べて展示することはあり得ます。</p>
3	該当箇所	16 ページ   項目：第3章2-2. 教育普及事業
	意見等	<p>学校教育との連携 学習指導要領に合わせた教材やプログラムの開発を小中高の教</p>

		<p>員の参加を得て実施する。また必要に応じて副読本の作成も目指す。</p> <p>※ 各学校の社会科年間指導計画に記入する。(どの担当教員でも忘れず活用できる。)</p>
	市の考え	<p>教育面での活用に向けて最も重要な視点は、児童・生徒が、あるいは、学校現場として、最も学習しやすい展示や環境を提供することであると考えております。</p> <p>そのために、現在でも既に市内の小中学校教諭も委員とする専門部会を設置し、学校教育において効果的となる手法を検討しておりますが、ご意見のとおり、今後も、教材やプログラム、副読本などの作成に向けて、学校の協力も得ながら進めてまいりたいと考えております。</p>
4	該当箇所	29 ページ   項目：第5章3-2. 配置計画
	意見等	<p>建物の建設位置について</p> <p>時代劇場と一体的な施設としたい構想で位置付けたいのであれば大駐車場北側の市道に隣接の位置(駐車場北側)が最適だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道を利用の来館者に考慮と時代劇場と一体的活用ができ利用価値が増大する。</li> <li>・ 施設は幹線市道沿いに設置した方が工事上施工しやすく又できたものが目立ってよいと思う。</li> </ul>
	市の考え	<p>建設予定地である葦山時代劇場大駐車場は、葦山時代劇場との共用駐車場となります。</p> <p>このことを踏まえ、大駐車場内の北側に設置した場合、駐車スペースの中心が南側となり、葦山時代劇場の利用者の利便性が低下すること、全体の駐車場収容台数が現計画地である南端に設置した場合よりも減少することなどの理由から、南端に設置する計画といたします。</p> <p>なお、本施設は、基本計画(案)の「第5章 4. 4-1 諸室機能」において示しているとおり、その活動を補完するものとして、葦山時代劇場の各施設を利用して各種の事業などを展開するものとしております。</p> <p>しかし、全ての来館者が常に両施設を往来するわけではありません。</p> <p>両施設を往来されるのは、主に学校単位で行われる史跡巡りに参加する児童や、葦山時代劇場において開催される各種イベントに参加される方々であると想定しており、それらの皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきたいと思います。</p>
5	該当箇所	29 ページ   項目：第5章3-2. 配置計画
	意見等	<p>建設位置について</p> <p>説明会で配布された資料と説明によると、時代劇場大駐車場の南側に建設予定となっておりますが、断じて北側にすべきであります。</p> <p>説明によれば、北側にすると時代劇場に来られた方の駐車場がその分遠くなって不便になり評判を落とす旨でしたが、私が考えるには実際はその逆ではないでしょうか！</p> <p>なんとなれば、市としてはこの展示場は市の歴史的・学術的観点からの施設であり、来場者の増加を目論んでいるものではないとの</p>

		<p>事でありました。</p> <p>然しこの考えは現実的に甘い且つ間違っているとかがえます。</p> <p>折角創るのですから、経済的側面も考慮し北側にして時代劇場と近接させれば、それぞれの施設の相乗効果が発揮されるのではないのでしょうか。</p> <p>加えて言うならば、伊豆の国市の歴史をより広く知って貰うという意味では、より多くの方々に来場頂いてインフルエンサーになってもらうのが市の利益に叶うことでしょう。</p> <p>以上にて建設位置は北側に変更を強くもとめます！</p>
	市の考え	<p>施設を葦山時代劇場大駐車場の北側に設置した場合、駐車スペースの中心が南側になり、葦山時代劇場の利用者の利便性が低下することは明らかです。</p> <p>また、多くの方に来館していただくためにも北側に設置することが望ましいとのご意見ですが、市といたしましても、当然のことながら多くの皆様に来館いただけるよう努めてまいりますし、そのためにも、少しでも多くの駐車場収容台数を確保することが必要であると考えております。</p>
6	該当箇所	29 ページ   項目：第5章3-2. 配置計画
	意見等	<p>南端の配置の不都合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行距離が長い（約 80m）</li> <li>・ 文化センター（時代劇場）と一体的使用に不便</li> <li>・ 施設への誘導（アプローチ）を駐車場内を歩くことになる</li> </ul>
	市の考え	<p>建設予定地である葦山時代劇場大駐車場は、葦山時代劇場との共用駐車場となります。</p> <p>このことを踏まえ、大駐車場内の北側に設置した場合、駐車スペースの中心が南側となり、葦山時代劇場の利用者の利便性が低下すること、全体の駐車場収容台数が現計画地である南端に設置した場合よりも減少することなどの理由から、南端に設置する計画といたします。</p> <p>なお、本施設は、基本計画（案）の「第5章 4. 4-1 諸室機能」において示しているとおり、その活動を補完するものとして、葦山時代劇場の各施設を利用して各種の事業などを展開するものとしております。</p> <p>しかし、全ての来館者が常に両施設を往来するものではなく、主に学校単位で行われる史跡巡りに参加する児童や、葦山時代劇場において開催される各種イベントに参加される方々であると想定しており、それらの皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>また、大駐車場内における施設への誘導（アプローチ）につきましては、十分な安全確保策を講じてまいります。</p>
7	該当箇所	30~34 ページ   項目：第5章4. 諸室機能と全体構成
	意見等	<p>建物の大きさについて</p> <p>総三階建てにして展示スペースを増加すべき。</p> <p>①現在の展示スペースは 360 m<sup>2</sup>、展示場内の通路を考えると使える部分は約半分の面積となる。将来必ず不足してくることが予想される。この際合併特例債の利用できる今がその決断の時期と思う。（今回を逃すと、将来展示場の増設が必要になったとき別棟を施工することになり、補助がなくなり膨大な費用が掛</p>

		<p>かってしまう。)</p> <p>②展示する物の時代は縄文から近世まで内容も盛り沢山で一室に並べられたら歴史好きな人でもこんがらがってしまいます。子供たちが社会科見学に来てみても時代錯誤して歴史が嫌いになってしまうでしょう。時代区分を3つぐらいに分けて展示をシンプルにしたいものです。今までの三倍になるから充分だと終わりではなく来客の身になって来てよかったと思える施設にしていきたいです。</p> <p>③三階建てに対応した下部工の設計にして施工していく。 (地盤が悪いので、対応した支持力を持った基礎工事の施工)</p> <p>④展望室はエレベーターの位置付近とする。</p> <p>⑤三階の空調設備は予算によっては後施工でもよい。</p> <p>⑥将来必ず展示場所が足りなくなると想定する。また他市町の展示(当市と関連等)も考えるならばなおさらだと思う。</p>
市の考え		<p>①総3階建てにすることにより、財政的な負担が大きくなります。 また、埋蔵文化財の発掘調査をはじめとする現在の文化財の調査・研究の状況から、今後、展示すべき文化財などの量が飛躍的に増加するという事は想定されません。 以上のことから、現計画どおりの施設整備を予定しております。 ただし、出土品などの文化財の展示は保存の面から困難ですが、その他の展示物について、各階のスペースを活用して設置することも検討してまいります。</p> <p>②いわゆる通史展示につきましては、基本計画(案)の「第3章 2. 2-1. 展示事業」及び「第6章 2. 展示テーマ構成」において定めておおり、常設展示として、時代別に5テーマに区分して行う計画としております。 この5つの時代別テーマは、伊豆の国市文化財保存活用地域計画において、本市の歴史・文化の特徴を踏まえて設定しているものでもあります。 時代区分を3つぐらいにというご意見ですが、原始から現代に至るまで重層的に蓄積する本市の歴史・文化を展示を通じて適切かつ効果的に伝えるためには、現在計画している5テーマの区分が適当であると考えております。 しかしながら、ご意見をいただきましたとおおり、来館者の視点に立った展示や施設となるよう、今後も十分な検討を進めてまいります。</p> <p>③現在計画している建物の規模・構造などに対応する設計・施工となります。</p> <p>④配置については現在計画しているとおおりといたしますが、より効果的な活用に向けて検討してまいります。</p> <p>⑤効率的な施設建設の観点から、現在計画しているとおおり(同時施工)といたします。</p> <p>⑥埋蔵文化財の発掘調査をはじめとする現在の文化財の調査・研究の状況から、今後、展示すべき文化財などの量が飛躍的に増加するという事は想定されません。 また、本市と関連する他市町の文化財などの展示を行うことも</p>

		検討しておりますが、企画展示室において期間を定めて展示することを想定しております。
8	該当箇所	30～34 ページ   項目：第5章4. 諸室機能と全体構成
	意見等	<p>この施設は発掘調査、考古資料を展示や収蔵したり、市民や国民の文化財に対する興味、関心を持たせ理解を深める拠点施設とする。</p> <p>市の30年後等将来を考えて子供達のために3階建てとしたい。経費が掛かるが市のローン等工夫したい。 (例えば図書館は今考えると狭く再考の余地あり。このようなことがないようにする。)</p> <p>3階</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歴史学習の場または講座室、研修室 小中学生35人学級で見学するとき、歴史学習したりまたは自習室を設け専用の間仕切りで勉強することも可。 研修会、市民対象にした文化財の講座で研修の場として利用する。</li> <li>2. 整理作業室 埋蔵文化財の洗浄、接合、復元をして市民に公開する。 文化財の体験講座も可能。</li> <li>3. 特別収蔵庫 温度、湿度を管理して文化財を収蔵する。</li> <li>4. ガイダンスシアター、音声ガイダンス 葦山城の歴史をわかりやすく説明する。 葦山城と北条早雲、江川太郎左衛門等上映する。</li> <li>5. パノラマビュー 屋上展望室 望遠鏡を設置して屋上から葦山城跡、葦山高校、蛭が小島、世界遺産反射炉が一望できる。 戦国時代この地に城を築いた北条早雲の功績を称え、その気持ちになる。</li> </ol>
	市の考え	<p>本施設は、収蔵機能は有しませんが、文化財に対する興味・関心を持ち、理解を深めていただく拠点となる施設です。</p> <p>将来を考えて3階建てにとのことご意見ですが、財政的な負担も踏まえて現在の計画としたことにご理解いただきたいと思っております。</p> <p>ご意見、ご提案いただきましたいずれの機能・スペースも、市民の歴史・文化に対する理解増進に向けて効果的であると考えますが、莫大な予算が必要となります。</p> <p>また、本施設は、財政負担を考慮し、合併特例債を活用して設置するものであり、その活用期限内(令和7年度末まで)に完成することが必要となりますが、現在計画しております規模を大きく上回る施設の場合、期限内の完成が困難となります。</p> <p>しかしながら、限られた予算の中で、より効果的、効率的な施設運営を行うために、本施設は葦山時代劇場の隣接地に設置するものであり、例えば、講座や研修、体験などは、葦山時代劇場内の各施設で実施することが可能ですので、各種の取組を推進してまいります。</p>
9	該当箇所	33～34 ページ   項目：第5章4-3. 平面構成
	意見等	以前からの意見ですが、総3階建てにして、3階部分の外周にベ

		<p>ランダを設け、室外へは限られたドアから出入りすることを提案します。その理由は、今後展示される展示物の温度・湿度管理を保つためです。また、室内の一部に、外が見れる窓を置くことで、風雨の日にはベランダに出なくても景色を望むことができます。</p> <p>また、展示するディスプレイの費用が大きいと聞きました。予算が限定されている中でプロジェクトを進めるのであれば、まずは建物を総3階建て（建築可能ならば4階でも5階でも良い）にして、一部を空き室にしておき、数年後に予算を確保して展示物を増やしていく方法も考えられるのではないのでしょうか。建物自体を作ってから増築はかなり困難であり、隣にもう一棟の建築を余儀なくされます。</p>							
	市の考え	<p>総3階建てにすることにより、財政的な負担が大きくなります。</p> <p>また、埋蔵文化財の発掘調査をはじめとする現在の文化財の調査・研究の状況から、今後、展示すべき文化財などの量が飛躍的に増加するという事は想定されません。</p> <p>さらに、本施設は、財政負担を考慮し、合併特例債を活用して設置するものであり、その活用期限内（令和7年度末まで）に完成することが必要となりますが、現在計画しております規模を大きく上回る施設の場合、期限内の完成は困難となります。</p> <p>これらのことから、現計画どおりの施設整備を予定しております。</p>							
10	該当箇所	33～34 ページ	項目：第5章4-3. 平面構成						
	意見等	<p>3階展望室のエレベーター前や階段の昇降口に、人が乗り降りなどに使う「共用スペース」が必要です。</p> <p>ユニバーサルデザインの観点からも、エレベーター前や階段の昇降口の前に、幅2m、長さ5mの共用スペースを追加すると、面積表の想定規模は以下の数値に変更となりますので、ご検討願います。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>室名</th> <th>想定規模 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展望室</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>EV・階段・廊下・共用スペース</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>		室名	想定規模 (㎡)	展望室	125	EV・階段・廊下・共用スペース	25
室名	想定規模 (㎡)								
展望室	125								
EV・階段・廊下・共用スペース	25								
	市の考え	<p>3階の床面積は現計画どおりを維持することを前提とした上で、ご意見を踏まえ、共用スペースなどについて、今後設計段階において検討してまいります。</p>							
11	該当箇所	33～34 ページ	項目：第5章4-3. 平面構成						
	意見等	<p>1階のセットバック（外壁の位置）について以下の点が疑問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部利用（テラス）が、不向き。</li> <li>・内部中心の利用の妨げ</li> <li>・全体予算に影響する。（軒裏天井などのコストアップ）</li> </ul>							
	市の考え	<p>ご指摘を踏まえ、今後、設計段階において精査してまいります。</p>							
12	該当箇所	33～34 ページ	項目：第5章4-3. 平面構成						
	意見等	<p>ガラス張りの件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1階のガラス張りの外壁は使い方を限定する。（市民交流スペースは、展示としても使用）</li> <li>・熱効率が悪くなり、維持費アップとなる。（3階とも）</li> </ul>							

	市の考え	ご指摘を踏まえ、今後、設計段階において精査してまいります。	
13	該当箇所	33～34 ページ	項目：第5章4-3. 平面構成
	意見等	ELVと階段室 ・メイン階段室がELVの外回りでは、利用者が錯綜する。 ・中央の階段は必要ない。(各階の使い勝手を悪くする)	
	市の考え	階段については、有事の際の来館者の安全確保のため、2箇所必要と考えておりますが、設置場所については、今後、設計段階において精査してまいります。	
14	該当箇所	33～34 ページ	項目：第5章4-3. 平面構成
	意見等	3階について ・東と北の屋上を見ている。(展望の機能では無い) ・多様な利用スペースとしたい。	
	市の考え	東と北の屋上を見ているとのご指摘ですが、屋上部分により施設近隣の展望は制限されるものの、決して展望の機能がないというものではありません。 また、多様な利用スペースにとのご意見につきましては、限られたスペースではあるものの、より効果的な活用を図りたいと考えております。	
15	該当箇所	33～34 ページ	項目：第5章4-3. 平面構成
	意見等	展示スペースが少ないと感じている立場からです。1階の一部も展示スペースにできると考えます。1000年に1度の洪水は、地震のように突然は来ません。移動可能なディスプレイで管理すれば洪水の前に2階へ移動できるはずです。	
	市の考え	1階においては、出土品などの常設的な展示は行わないものの、インフォメーションや市民交流スペースを活用した展示を行うことを検討しております。	
16	該当箇所	42～45 ページ	項目：第6章3-1. プロローグ展示 3-2. 常設展示
	意見等	・華美な映像(スクリーン)は当施設の主旨(文化、教育)に反する。 ・棚・模型等に、華美な装飾をしない。	
	市の考え	何をもって華美と判断するかは難しいと思われませんが、当然のことながら、限られた財源の中で、来館者の理解増進に最も効果的かつ効率的な映像、棚・模型などを製作・設置いたします。	
17	該当箇所	53 ページ	項目：第7章4-2. (1)館長
	意見等	館長の件。行政の部長の件ではなく、学識経験のある指導できる人を選任してほしい。(教育力のあるやる気ある人)	
	市の考え	計画において示しているとおり、館長として、長期的視点から事業活動を立案・実行するマネジメント力、関連施設・機関などとの連携を図るコーディネート力、コミュニケーション力を持つ職員の育成・配置に努めます。	